

避難行動要支援者名簿への登録申請はお済みですか？

～逃げ遅れゼロ いざというとき、お互いを助け合うことのできる地域へ～

☎福祉課 ☎22-1400

「避難行動要支援者名簿」とは、災害対策基本法に基づき、大地震や大雨などの災害が起こった時に自力で避難することが難しく、支援を必要とする方々（避難行動要支援者）をあらかじめ登録しておく名簿です。その名簿を避難支援等関係者と共有することで普段から災害に備えるとともに、災害時には効果的に活用することを目的としています。本年6月に行われた総合防災訓練においても、各地区の安否確認を行う際に活用しました。

●避難行動要支援者の対象となる方

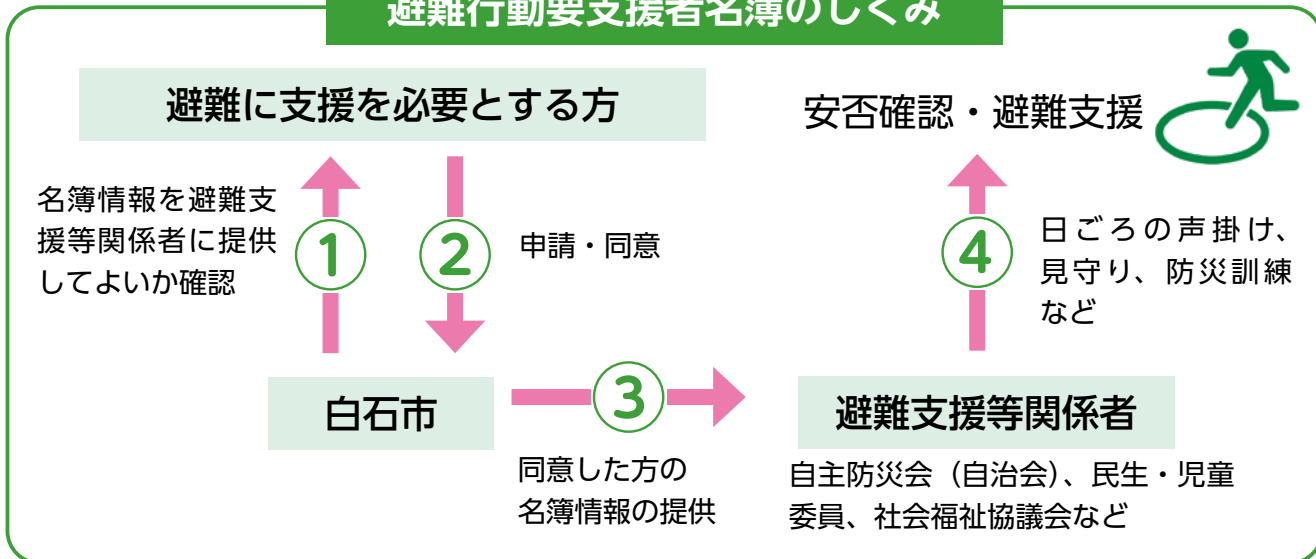
- ①65歳以上でひとり暮らしの方（自力避難が困難な方）
- ②65歳以上で寝たきりの方
- ③65歳以上の高齢者のみの世帯（自力避難が困難な方）
- ④要介護3以上の方
- ⑤身体障害者手帳1・2級の方
- ⑥療育手帳A判定の方
- ⑦精神保健福祉手帳1級の方
- ⑧指定難病患者の方
- ⑨上記のほか災害時に支援を必要とする方

●避難支援等関係者となる方

- ①自主防災組織（自治会）
- ②民生委員児童委員
- ③白石市社会福祉協議会
- ④白石警察署
- ⑤白石消防署
- ⑥白石市消防団
- ⑦白石市医師会



避難行動要支援者名簿のしくみ



●申請（登録）方法

申請書は福祉課（総合福祉センター内）に備え付けてあります。申請書を記入のうえ提出してください。
 ※避難行動要支援者名簿には、「氏名」「生年月日」「住所」「電話番号」「支援を必要とする理由」などの個人情報が掲載されます。申請書は、避難支援等関係者への個人情報提供同意書を兼ねています。

災害に対する備えを

災害時には、自主防災会（自治会）や地域の民生・児童委員などの支援者が力を合わせて「避難行動要支援者名簿」を活用して安否確認、避難支援にあたります。しかし、地域の支援者自身も被害に遭う可能性があり、十分に活動できない場合もあります。各家庭で災害に対して備えておくとともに、日ごろから地域の方々との交流をはかり、必要な支援について理解してもらっておくことが重要です。

「自分だけは大丈夫」と思っていないですか？

あなたも詐欺・悪質商法の被害者予備群です。あなたを狙っている詐欺犯や悪質業者（商法）はだましのプロです。不安や迷いなど人の弱みにつけ込んだり、有利な（おいしい）話ばかりを強調したりしてきます。

「絶対にだまされない」「自分だけは大丈夫」などと過信せず、まずは「だまされているかもしれない」と疑ってみることも必要です。

- 高齢者を狙う主な詐欺・商法
オレオレ詐欺、還付金詐欺、利殖商法、点検商法

- 主婦を狙う主な詐欺・商法
訪問販売、かたり商法、送りつけ商法、催眠商法

- 若者を狙う主な詐欺・商法
架空請求、キャッチセールス、アポイントメントセールス、マルチ商法、資格商法

- サラリーマンを狙う主な詐欺・商法

投資用マンションの不動産や美術品などを販売しようと、職場や自宅に何度も強引な勧誘の電話をかけてきます。

※6月1日からメールでの「クーリングオフ」も可能になりました。

- ◆消費者ホットライン
☎188



「消費者庁 イラスト集より」



地域おこし協力隊
後藤 永行（あしがるさん）

それいけ！ 白石の魅力を再発見！ 地域おこし協力隊

第3回白石城本丸キャンプ 「城キャンプ」を開催しました！



▲あしがるさんのSNS一覧

5月21・22日の2日間、白石市文化体育振興財団の皆さんと共に「第3回白石城本丸キャンプ『城キャンプ』」を開催しました。今回のターゲットは「20～40代の城好きの方」と設定し、7組20人が参加しました。イベント内容は、^{かつらぎ}甲冑体験やオリジナル御城印づくり、夜の3Dシアター上映、城内工事見学など普段とは違った白石城を楽しんでもらえるような企画にしました。参加者は「白石城の前で泊まれることができ、貴重な体験でした」と話してくれました。

次回の開催は10月中旬の予定で、市民の皆さんにも参加してもらえるような企画にしたいと考えています。どうぞご期待ください！



▲参加者に修復工事中の城内を案内しました